

# 営農経済部 稲作 特別情報

管内 18 地区の定点圃場にて、分けつ、草丈などの生育状況、病虫害の発生状況などを重点に調査を行った“水稲生育状況調査”結果を提供しますので、ご活用ください。

北部地域を中心に刈り取りが始まりましたが、悪天候が続く圃場の状態が悪いため、圃場の状態を要確認し、注意して作業を行ってください！



## ◆ トビイロウンカ について(令和3年9月9日現在)

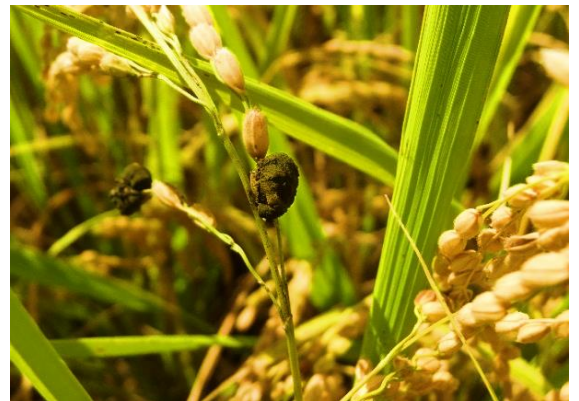
JA 広島市管内では、トビイロウンカの飛来は未確認。

最近 気になる病気 稲こうじ病 ~来年度の稲作に向けて~

## ◆稲こうじ病について

JA広島市管内の南部地域を中心に「稲こうじ病」の報告・お問合せが増えています。昔は「稲こうじ」が着いたら“豊作になる”と喜んでいたのですが、現在では、登熟歩合が悪くなり、乳白粒、青米、死米が増加し、品質が低下することが判明しております。

来年度の稲作に向けて、情報提供いたします！  
ご参考にしていただければと思います！！



▲稲こうじ病

## <伝染源・伝染好適条件>

- ✓ 圃場に残った菌核や厚膜胞子が伝染源となる。
  - ⇒ 田面に落ちて越冬し、翌年に厚膜胞子や菌核から生じた子のう胞子が風雨で飛散します。
- ✓ 穂ばらみ期に低温で降雨が多い時。
  - ⇒ 穂ばらみ期～出穂期に、鞘の合わせ目から雨露と共に子のう胞子が内部に流れ込みます。
- ✓ 出穂期以降の高温時。
  - ⇒ 子のう胞子が、幼穂に達し、出穂後に病粒を形成します。
- ✓ 植え付け本数が多い水田、窒素過多の水田。

前年に発生のおった水田では  
防除を徹底してください！

## <来年度に向けての防除対策>

稲の収量や品質に大きな影響を与えますので、「JA広島市稲作ごよみ」を参考に“モンガリット粒剤”を防除適期：出穂 21～14 日前に散布してください！



病害	品名	使用時期	回数	10aあたりの 使用量	規格	当用価格 (税込)
稲こうじ病 紋枯病	モンガリット粒剤	収穫 45 日前 まで	2回 以内	4 kg	3kg	3,550 円

※穂もち病・紋枯病との同時防除剤の散布は、出穂前8～12日頃に行うことが出来ますが、薬剤の散布時期がこれより早いと、穂もち病・紋枯病に対する防除効果が低下し、薬剤の散布時期が遅いと、稲こうじ病に対する防除効果が低下します。

⇒ 来年度の稲作では、「基本防除」、「随時防除」を徹底しましょう！